

2025年度 認定こども園教育・保育要録に基づく 施設関係者評価 【まとめシート】
 <自己評価> 及び <公開保育>

所属 [学校名、機関名、法人・園名等]	園長名	作成日
社会福祉法人照治福祉会 清水認定こども園	前田 敦子	令和8年1月23日
評価の記録		
評価者		
良い点	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども自身がこれで遊びたいと思わせる環境が用意されており、自分のしたいことを自分で選んで行っている。何もしていない子どもが見当たらなかった。 ・保育者が子どもに対して遠くからの命令や注意の声掛けではなく、子どものそばに寄り添い、丁寧に声をかけていた。職員がすべての子どもをしっかりと見ていた。 ・第三者評価を受審し、結果内容を見る限りは詳細にチェックされており、コメントも適切でわかりやすかった。 ・「自分で考えて行動する」「頭を使うこと」等、これからの時代に大切なことを取り入れていてよいと感じた。 ・年長組で取り入れている「お話の会（こども哲学）」の中で、その場にいるだけでも良いという安心安全な場の提供が大人の世界でも必要だと感じた。。 	
改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の立ち位置から死角になる場所は、気づかない場面もあるため、状況把握が難しそうに感じた。死角になる場所や場面での対応をどのようにしていくかが課題である。 ・AIなどを活用して職員の負担を軽減できるようにしてはどうか。 	
更に期待する点	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価の結果は、b評価が5個でそれ以外はa評価という高いレベルだと思う。完璧はかなり難しいと思うがより高いレベルを目指してほしい。ただし、実践する職員の負担になりすぎないよう配慮をお願いしたい。 ・第三者評価で得た課題などを法人として共有し、PDCAサイクルを心掛け、今後に活かしてほしい。 	
評価を受けて	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模園の先生方など多数の方の参加をいただき、様々なご意見をいただく機会を得た。当園で取り組んでいることの意味を伝えることで、さらに理解を深めることができた。特に子どもとの対話を大切にしている話から、今の時代に求められる課題であると言われていたので、今後も力を入れていきたいと思う。 ・今年度第三者評価を受審したことで、評価をされたことはさらに深めていき、課題とされるところは職員と話し合い改めていきたいと思う。 	